

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
合計													0.0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

その他関連する事業														
計画等の名称 10 安全、快適なまちづくりに向けた生活環境基盤整備														
事業種別	交付対象	要素となる事業名 (事業箇所)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考				
				H22	H23	H24	H25	H26						
合計													0.0	
全体事業費	合計 (A'+B'+C')	0百万円 0百万円	A'	0百万円 0百万円	B'	0百万円 0百万円	C'	0百万円 0百万円	(C+C')/((A+A')+(B+B')+(C+C'))	0.0% 0.0%				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況												
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況			・ 公共下水道の整備を進めることにより、公共用水域の水質の保全と快適で衛生的な生活や良好な居住環境を確保することができた。									
II 定量的指標の達成状況	指標① 下水道施設の 地震対策達成率	最終目標値	50%	目標値と実績値 に差が出た要因	計画通り事業の実施を行うことができた。							
		最終実績値	50%									
	指標② 下水道施設の総 合地震対策計画 の策定率	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因								
		最終実績値	100%									
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)												
3. 特記事項(今後の方針等)												
・ 引き続き各事業を進めることにより、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												